

概況

平成20年7～9月期の出荷数量は、建築向け、土木向けともに減少したことにより17,143.4千㎡、前年同期比10.8%の減少となった。

1. 需要先別の動向

建築向けは11,025.5千㎡、前年同期比11.8%の減少となった。このうち民需向けは、住宅向けが5,460.2千㎡、同20.4%の減少、非住宅向けが4,204.6千㎡、同1.8%の減少となった。また、官公需向けは1,360.7千㎡、同0.1%の増加となった。

土木向けは6,118.0千㎡、同8.9%の減少となった。このうち鉄道・電力向けは481.8千㎡、同13.7%の減少、港湾・空港向けは822.3千㎡、同5.2%の減少、道路向けは1,627.9千㎡、同11.9%の減少となった。

2. 地域別の動向

経済産業局（沖縄は内閣府沖縄総合事務局）別にみると、北海道は1,062.9千㎡、前年同期比15.0%の減少。このうち土木向けは538.7千㎡、同15.3%の減少、建築向けは524.2千㎡、同14.8%の減少となった。非住宅向け（同21.9%）などが好調だったものの、住宅向け（同38.5%）や鉄道・電力向け（同22.4%）などが低調であった。

東北は1,487.6千㎡、同11.0%の減少。このうち土木向けは683.4千㎡、同16.0%の減少、建築向けは804.2千㎡、同6.3%の減少となった。官公需向け（同23.1%）などが好調だったものの、鉄道・電力向け（同63.5%）や港湾・空港向け（同30.6%）などが低調であった。

関東は6,417.7千㎡、同11.2%の減少。このうち土木向けは1,695.5千㎡、同7.4%の減少、建築向けは4,722.1千㎡、同12.5%の減少となった。港湾・空港向け（同37.5%）や鉄道・電力向け（同21.8%）などが好調だったものの、道路向け（同30.2%）などが低調であった。

中部は1,913.6千㎡、同9.1%の減少。このうち土木向けは689.6千㎡、同5.8%の減少、建築向けは1,224.0千㎡、同10.8%の減少となった。鉄道・電力向け（同60.6%）や港湾・空港向け（同30.6%）が好調だったものの、住宅向け（同20.5%）や官公需向け（同16.5%）などが低調であった。

近畿は2,001.9千㎡、同11.4%の減少。このうち土木向けは677.7千㎡、同11.1%の減少、建築向けは1,324.2千㎡、同11.6%の減少となった。住宅向け（同29.9%）や官公需向け（同19.1%）などが低調であった。

中国は1,067.0千㎡、同15.8%の減少。このうち土木向けは482.9千㎡、同10.4%の減少、建築向けは584.1千㎡、同19.9%の減少となった。鉄道・電力向け（同48.6%）や官公需向け（同31.1%）などが低調であった。

四国は764.5千㎡、同4.4%の減少。このうち土木向けは404.9千㎡、同3.3%の減少、建築向けは359.6千㎡、同5.6%の減少となった。官公需向け（同9.4%）が好調だったものの、非住宅向け（同7.7%）や住宅向け（同7.1%）などが低調であった。

九州は2,050.4千㎡、同8.6%の減少。このうち土木向けは870.1千㎡、同4.0%の減少、建築向けは1,180.3千㎡、同11.8%の減少となった。港湾・空港向け（同14.7%）などが好調だったものの、鉄道・電力向け（同18.9%）や住宅向け（同18.4%）などが低調であった。

沖縄は377.9千㎡、同2.8%の減少。このうち土木向けは75.1千㎡、同4.9%の減少、建築向けは302.8千㎡、同2.3%の減少となった。非住宅向け（同26.9%）などが好調だったものの、港湾・空港向け（同18.3%）や住宅向け（同15.2%）などが低調であった。

3. 月別の動向

土木向けは、7月は2,153.5千㎡、前年同月比2.3%の減少、8月は1,754.2千㎡、同16.9%の減少、9月は2,210.3千㎡、同8.0%の減少となった。

建築向けは、7月は4,008.8千㎡、同9.2%の減少、8月は3,223.0千㎡、同18.3%の減少、9月は3,793.6千㎡、同8.3%の減少となった。

全体では、7月は6,162.3千㎡、同6.9%の減少、8月は4,977.3千㎡、同17.8%の減少、9月は6,003.8千㎡、同8.2%の減少となった。

4. 設備能力及び従業員数

9月末の全国のプラントの基数は2,130基で、前期末（20年6月末）より13基の減少、前年同期末（19年9月末）より89基減少している。月間生産能力は55,493千㎡、前年同期比3.5%の減少となっている。

従業員数は、26,904人、前年同期末より1,972人（6.8%）減少している。